平成２８年3月8日　No.４９

総合学習センターだより

発行：相模原市立総合学習センター
〒252-0239 相模原市中央区中央３丁目 12 番 10 号
ＴＥＬ　０４２（７５６）３４４３
ＦＡＸ　０４２（７５８）８１４６
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://www.sagamihara-kng.ed.jp

「おもい」

総合学習センター　所長　　齋藤　嘉一

『おもい』とパソコンに入力すると、「思い」「想い」「重い」等が表示されます。

私たち大人は、子どもたち一人ひとりが健やかに成長することを常に願っています。子どもたちは様々な「おもい」をもって、日々生活しています。大きな夢に向かって進んでいる子どもたちをどう支援していくか、大人にとってとても大切なことだと思います。

あるときは「厳しく」また、あるときは「優しく」と言葉にするのは簡単ですが、実際、一人ひとり違う子どもたちへのかかわり方は難しいものです。

また『おもい』をもって人に接するということは、子どもたちだけに限るものではありません。気持ちよく生活していくためには、相手のことをおもいやることは、とても大切なことです。

私は日々の生活の中で自分の『おもい』が「重い」になってしまわないか心配してしまいます。相手のことを考えているのに、その相手が「重い」と感じることがないよう、すべての人に接していきたいとおもっています。

平成２７年度
教育実践研究論文表彰式

平成２８年１月２８日（木）、総合学習センター大会議室にて、平成２７年度教育実践研究論文表彰式を行いました。

今年度は、３８本の応募があり、厳正な審査の結果、次の方々が入賞されました。

◆平成２７年度教育実践研究論文入賞一覧◆

入賞	氏名	所属	テーマ
教育長賞	長沢　亜希子 奥山　憲雄	星が丘 公民館	子育ち･親育ち～ちょうどいいを見つけよう 星が丘公民館での家庭教育支援講座の取り組み
優秀賞	さがみ虹色ネット		職域を超えた連携による発達障害支援 ～「さがみ虹色ネット」の10年～
	細川　恵	星が丘 小学校	小学校での取り組みを、中学校での支援につなげ、成果を出す ～小中のつながりある支援で不登校を克服した生徒の8年間の軌跡～
奨励賞	荒木　昭人 進藤　智子 多田　実恵	旭 小学校	アクティブラーニングなんてこわくない！ 児童･教師･地域で創る総合的な学習 ～「私たちの街を再発見！大好き橋本！」の実践を通して～
	大里　朝彦	若草 小学校	心理的アプローチによる学校経営Ⅱ ～学校教育目標を具現化するために～
	最首　昌和	上鶴間 中学校	優しさと成長を約束する言語活動を生かしたグループ学習の条件 グループ学習の世界標準に学ぶ
	中澤　蘭	大野台 小学校	幼稚園教育を生かした体育の授業づくり ～表現遊びから運動の楽しさを学ぶ～

市民大学・総合学習センターコース

**「景観から眺める近現代の相模原
ー農村から軍都・衛星都市・政令市へー」**

１１月より全３回コースで開催されました。講師は、桜美林大学教授の浜田弘明先生です。旧相模原市の区域を中心に農業が盛んだった明治から戦前の時代、陸軍施設の建設が相次いだ昭和１０年代、急激に都市化の進んだ戦後の時代の３つの時代に焦点をあて、地図や景観から近現代の相模原を学びました。市民生活の変化について知る有意義な時間が過ごせました。

相模原を学ぶ「市民大学・総合学習センターコース」来年度もご期待ください！

市民講座　学びのらいぶ塾

春講座受講者募集します！

春講座の受講者募集が３月１５日（火）から始まります。３月２８日（月）までに、当センターや各公民館・図書館にある募集チラシについている申込書、センターホームページから申し込めます。

◆　講　座　名　◆

脳トレ！！ ワンダーランド	楽しい心理学 パート２
楽しむパソコン活用！ 基礎編	俳句、 楽しく始めよう
生き活き健康ウォーク	「史記」を楽しく読む
知っとく生き生き術	心豊かに生きる道徳
ハーバルライフ入門	歴史の残影:モロッコ他
ビデオ開発のドラマ	釈迦を学ぶ
おとなの元気塾	

学社連携・協働の動き

◆各校の取組み◆

＜内出の森スポーツフェスタ＞

内出中学校の中里コーディネーターは「本物に触れよう実行委員会」の実行委員長として、大沢地区の地域の方々やＰＴＡ等と連携しながら、地域の活性化事業に取り組んでいます。地域の子どもたちが本物に触れる機会として、今年はトランポリン世界選手権銀メダリストの長崎選手やＳＣ相模原のメンバー、光明学園相模原高校の新体操部の選手たちを迎えて「内出の森スポーツフェスタ」を開催しました。約２５０名の参加者は、模範演技を見たり、トランポリンやサッカーを体験したり、見るだけでなく本物に触れて楽しい時間を過ごすことができました。

＜親子で一緒に清掃活動＞

淵野辺東小学校では「親子清掃」として、保護者の協力を募って大掃除を行っています。来校した保護者の方は名簿にチェックすると、お子さんのクラスに行って、子どもでは難しい窓拭きやトイレ等の清掃を行っていました。山崎コーディネーターは、事前に案内チラシを配布し、当日は参加した保護者へ言葉かけしながら、校舎内の様子を見回っていました。「親子清掃」は年末と学年末の２回、春は桜の花びら、秋は落ち葉清掃も実施しており、年間をとおして保護者が学校の環境整備にかかわることができるように計画され、美しい学校づくりに取り組んでいました。

◆第３回「学校と地域の協働推進コーディネーター」研修会◆

１月２８日（木）に総合学習センターで平成２７年度の第３回研修会を開催しました。当日は教育委員の視察がありました。研修会の前半は「学校と地域の協働推進事業」に参加している全６校のコーディネーターからの活動報告と意見交換を行いました。今年度は９月から１２月にかけて、各コーディネーターが他校の事業を見学する機会を設けていたため、活動の内容について、より具体的で活発な意見交換が行われました。

後半は、内出中学校の中里コーディネーターが３年間の活動を振り返って発表を行いました。これまでのコーディネーター活動の成果と課題、学校と地域が連携したよりよい関係のあり方について考えながら、今後の展開につながる話し合いが行われました。

大沢中学校で携帯ルールができました
～　大沢地区みんなのインターネットルールプロジェクト　～

このプロジェクトは、大沢中学校区ＰＴＡ、大沢中学校、大沢小学校、九沢小学校、相模原市、相模原市教育委員会が協力して、今年度よりスタートしました。このプロジェクトの目的は、スマートフォン・携帯電話・ゲーム機などの情報通信機器に対して、地域の子どもたち全員が、安全でかつ安心して使用できる環境にして、みんなが安心して通信機器を使っていけることをめざしています。

実際の活動では、地域の実態を調べるためのアンケート調査を行った後、９月より大沢中学校の生徒会評議会でルールの検討を行い、１０月の学校保健委員会で次のような「大沢の携帯ルール」が決まりました。

大沢中学校では、このルールができた後にも調査を実施し、守れたこと、守れなかったことについて、全学級で意見を集約し、１月の生徒会評議会で話し合いを行いました。今後は、大沢小学校、九沢小学校にこのルールを伝え、大沢中学校区みんなで守っていけるようにしていきます。

～　学校保健委員会で決まったルール　～

☆　時間の制限　　平、休、祝日ともに、終了２２時まで。合計２時間３０分まで。

☆　勉強に集中するために　　勉強中はゲーム禁止。

☆　犯罪に巻き込まれないように　　フィルタリングサービスを受ける。
　　人の顔を許可なく載せない。

☆　マナーを守って　　食事中、移動中など「ながらスマホ」をしない。

今回紹介したプロジェクトの詳細については「ネットパトロールだより」７２、７３号に掲載しています。
ぜひ、ご覧ください。
ＨＰ（http://www.sagamihara-kng.ed.jp/newpage4-8-1.htm）

校内のセキュリティを調べます
～　情報セキュリティ監査　～

総合学習センターでは、教職員のセキュリティ意識、学校全体のセキュリティ対策レベルの向上を図るため、平成２３年度より「情報セキュリティ監査」を実施しています。今年度は、小・中学校１９校に、事前監査、本監査を実施し、そのうち３校で実地監査を行いました。

実地監査は、児童生徒の個人情報が含まれるデータ及び紙媒体の保管状況について調査します。

また、教職員が使用するパソコンだけでなく、タブレットＰＣやデジタルカメラ等の保管状況についても確認します。最後に担当者へのヒアリングを行い、校内のセキュリティ対策について協議を行います。

監査対象校では、担当者を中心に打ち合わせや研修を定期的に行い、ウィルスチェックなどの実際の作業を全教職員で一斉に行うなどセキュリティ意識の向上を図っています。　＊写真は実地監査校の様子

職員室の机上には物を置かないようにしています。

カメラはＳＤカードに記録せず、その都度データを破棄しています。

さがみはら教育
１６０号を発行します！

「さがみはら教育」は、総合学習センターが発行する教育情報誌です。

本号では「教室のICT化で『学び』はどう変わるか」をテーマとし、タブレットＰＣ等のICTを利活用した授業実践やアンケート調査から、ICTの利活用で変わる学びと変わらない学びを探ります。本市の子どもたちが、ICTを利活用して主体的、協働的に学習に取り組むことを願って編集しました。

総合学習センター等で販売する予定です。ぜひ、ご一読ください。

さがみはらの未来をひらく教育考房

さがみ風っ子教師塾

第７期まもなく終了！

チャレンジコース（教員志望者）

昨年10月にスタートしたチャレンジコース。3月19日の第16回をもって全ての講座が終了となります。

講義や協議、体験活動、演習等を通して、めざす教師像を明確にし、子ども理解や授業づくりについて学んできました。同じ志をもった仲間との6か月間。学生であっても社会人であっても「休みの日に出かけて学ぶ」ことは容易なことではありません。そこには「相模原の教師になりたい」という強い意志と、多くの学び、そして仲間との絆があったからこそ、継続できたのだと思います。この思いをいつまでも忘れず、相模原市の教師となり、多くの子どもたちと、たくさんの夢と感動を語り合ってくれることを願っています。

★★塾生の感想★★

一人ひとり理想の教師像があるけれど、同じ熱い思いをもって、それぞれ努力しているんだと感じました。この意識の高い集団の中で、たくさんのことを学んでいきたいです。

スキルアップコース（現職教員）

昨年8月にスタートしたスキルアップコース。現職教員が土曜日の午前に集まり、様々な力を付けるために学びを進めてきました。前期（8月～9月）は、国立天文台三鷹の見学や被災地支援ボランティアの学生との交流など、学校や個人ではなかなか学ぶことのできない施設見学や体験をし、教員としての幅を広げました。後期（10月～3月）は、一人ひとりが学びたいことや高めたいことをテーマに個々に活動を進め、それぞれの実践について情報交換することで充実した教育活動を展開しています。「学び続ける教師」であり続けるためには、学びの場はたくさん必要です。今後も、現職教員の「学びたい」を支えていきます。

★★塾生の感想★★

スキルアップの方法はいろいろあるけれど、相模原とのつながり、出会った人とのつながりを大切にしていきたいです。教師になれたことで、実現できる数々のことに挑戦していきたいです。

教師への夢と情熱を相模原で！
さがみはら教育の魅力を継承する
高い志をもつ人材の養成

わくわく、どきどき！これぞ相模原の教育
何事にも前向きに取り組み、
誰からも信頼される人材の育成

ＪＡＸＡとの連携事業

プログラミングの授業研修「技術分野」

宇宙航空研究開発機構(JAXA)と連携した技術の授業を参観し、協議する研修を市内中学校で１１月２６日（木）に行いました。

授業では、宇宙教育センターと協力して考えた学習課題を実施しました。内容は、地球から出発し、小惑星に到着したのち、サンプルを採取し、再び地球に戻るという「はやぶさ２」のサンプルリターンに見立て、自動走行ロボットをプログラムするというものでした。

探査衛星に見立てたロボットが、サンプルをうまく採取をして帰還すると、生徒たちからは歓声が上がりました。

教育研究員研究

本市の教育の向上を図るため、組織的・計画的な調査研究を行っています。

平成２６・２７年度にわたり取り組んできた３つの研究が、この３月で終了します。

☆学校と地域の連携・協働に関わる研究
～地域を想う子どもの育成をめざして～

自分の暮らす地域を愛する「心」と、その地域をよりよくしようと考える「力」を備えた子どもを育てることを目的として、現在、実践されている活動を高める方法や視点について研究を進めました。

☆自他の違いや良さに気づき、人との関わりを大切にする子どもの育成に関する研究
～参加体験型の活動を通して～

子どもたちの自己肯定感、自己有用感、学級の所属感を高めるために、効果的な人権教育の内容や進め方について研究を進めました。

☆自分の考えを明確にした「書くこと」の指導に関わる研究
～「課題設定と取材」「構成」の力を育てる～

子どもたちが意欲をもち、書こうとする文章の種類や形態に合わせて考えが伝わるような文章を組み立てる力をはぐくむための研究を進めました。